

事故進展や事象究明／安全性向上に有益な情報が得られる可能性のある工事・作業リスト

2022年3月1日時点

工事期間 : ~2022年9月

抽出条件 : 現場の保存状態が変更となるもの(設備撤去、除染、設備の取り替え等)の他、現場の線量測定、サンプリング等幅広く抽出

追加作業・変更箇所 : 赤字記載

完了件名 : 灰色ハッチング

NO	現場の状態が変化する作業"○"	工事・作業件名	工事・作業概要	作業場所	工事・作業期間	対象設備	完了状況	現場の状態変化の内容 (機器の撤去やオペロ除染等により事故検証の情報が喪失する可能性がある等、大きく状態が変わるもの) 「-」: 現場の変更が軽微もの、または現場の変更が無いもの、事故検証への影響がないと考えられるもの(線量測定やサンプリング等)
1	-	1号機原子炉建屋水位計設置	1号機北東三角コーナーへの水位計設置し直し(カメラによる地下階確認有り)	1号機R/B地下階北東三角コーナー	2023年度中 (実施時期検討中)	1号機HPCI室 (滞留水水位計)		-
2	-	1号機原子炉建屋水位計設置	1号機HPCI室の水位計設置し直し(カメラによる地下階確認有り)	1号機R/B地下階HPCI室	2023年度中 (実施時期検討中)	1号機トラス室 (滞留水水位計)		-
3	-	3号機R/B滞留水採取&分析 (直営作業)	3号機トラス室地下階の滞留水採取 3号機MSIV室の漏れ水採取 (直営作業)	3号機R/Bトラス室,MSIV室入口	2021年8月 サンプルJAEA輸送 分析: ~2022年6月	-		-
4	-	2号機原子炉建屋水位低下、滞留水採取&分析 (直営作業)	2号機原子炉建屋水位低下に伴い、S/Cノズル部(RCICサクシオン等)の気中露出の可能性 2号機トラス室地下階の滞留水採取	-	2021年9月~	-		今後水封されていると考えられるS/C損傷部が気中露出する可能性がある。⇒PCV圧力低下により、損傷部のエレベーションが確認できる。 2/28現在、TP-2600mm:RHR吸込配管貫通部上端より約300mm付近。
5	-	1~3号機原子炉建屋浮上油調査委託	1,2,3号機HPCI, RCIC室内の浮遊油の状況調査として、上部よりカメラを投入。	1,2,3号機原子炉建屋	2022年2月~2022年12月	-		-
6	○	1F-2 オペロ除染業務委託(その1)	オペロ床面、壁面、天井面の除染を行う。壁面、天井面はSFP北側エリアのみ。	2号R/Bオペロ	2021年8月~2022年1月	-	作業完了	オペロ床面、壁面、天井面の除染により、表面汚染の状態が変わる。
7	○	1/2号機Rw/Bガレキ撤去工事	1/2号機Rw/Bの雨水対策のために屋上のがれきを撤去する。この際、同建屋上の主排気ダクトの撤去も行う。	1/2号機Rw/B	2022年1月~2022年10月	1/2号機主排気ダクト		対象機器を撤去する。
8	○	1号機大型カバー設置工事	大型カバー設置に干渉する1号機アイソレーションコンデンサー排気口配管の一部切断	1号R/B西側外壁	2022年5月~2022年9月	1号機アイソレーションコンデンサー排気口配管		対象機器の一部を撤去する。
9	-	1号機残置カバー解体工事~1号機大型カバー設置工事	1号機R/Bオペロ上への定期飛散防止剤散布(1回/月)	1号R/Bオペロ上	~2024年3月	-		-
	⊖	<del>1F-2 オペロ遮蔽体設置工事(その1) No.16と重複のため削除</del>	<del>2号機オペロに遮蔽を設置する。</del>	<del>2号R/Bオペロ</del>	<del>2022年2月~5月</del>	<del>-</del>		<del>遮蔽を設置することにより、オペロ床面に直接アクセスできなくなる。</del>
10	○	3号機使用済燃料プール内ガレキ撤去作業	3号機使用済燃料プール内に保管されている機器(制御棒、フィルタ、ガレキ類等)を取り出すため、プール内に堆積しているガレキの撤去を行う。	3号機 R/B 5階 使用済燃料プール内	2021年10月~2024年度末	-		-
11	○	1F-2 オペロ遮蔽体設置工事(その1)	オペロ内の原子炉ウエル、DSピット近傍及び北東側エリアの床面に遮蔽体を設置する。	2号R/Bオペロ	2022年2月~2022年5月	2号機R/Bオペロ床		オペロ内原子炉ウエル上に遮蔽体を設置することにより、調査等が困難となる。
12	-	1号機X-2ベネ内扉サンプル採取委託	X-2ベネ内扉のスミア採取	1号R/B	2022年3月~2022年4月	1号PCV		-

事故進展や事象究明／安全性向上に有益な情報が得られる可能性のある工事・作業リスト

2022年3月1日時点

工事期間 : ~2022年9月

抽出条件 : 現場の保存状態が変更となるもの（設備撤去、除染、設備の取り替え等）の他、現場の線量測定、サンプリング等幅広く抽出

追加作業・変更箇所 : 赤字記載

完了件名 : 灰色ハッチング

NO	現場の状態が変化する作業"○"	工事・作業件名	工事・作業概要	作業場所	工事・作業期間	対象設備	完了状況	現場の状態変化の内容 (機器の撤去やオフロ除染等により事故検証の情報が喪失する可能性がある等、大きく状態が変わるもの) 「-」: 現場の変更が軽微もの、または現場の変更が無いもの、事故検証への影響がないと考えられるもの(線量測定やサンプリング等)
13	-	1号機PCV内堆積物分析業務委託	PCV内部調査で採取した試料の分取および関連作業、環境線量低減対策	1号R/B	2022年7月~	1号PCV		-
14	-	2号機X-53ベネへのスプレイ治具設置作業	2号PCV内部調査に向けたアクセスルート構築時に発生するダストを抑制するための治具を設置する作業。この作業の中で過去の内部調査作業時に残置したX-53ベネ内丸棒を回収	2号R/B	2021年9月~2021年10月 2022年3月~	2号PCV X-53ベネ		X-53ベネフランジ内面の汚染（ベネ内径まで孔径拡大するため） 2021/6 丸棒回収【完了】 2021/10 X-53ベネ穴径拡大【完了】
15	-	2号機PCVガス管路排フィルタ追加設置	PCVガス管理設備出口ダクトへの局所排風機の追加設置	2号R/B	2022年1月~	2号T/Bガス管理設備		(対象機器の設置は、事故検証には影響ないと考えている)
16	-	2号機早期検知用DM設置	2号PCV内アクセスルート構築時のダストを測定するため、原子炉建屋排気設備ならびにPCVガス管理設備フィルタ事前に連続ダストモニタを設置する。	2号R/B	2021年12月~	2号PCV		(対象機器の設置は、事故検証には影響ないと考えている)
17	-	2号機PCVサンプル採取他業務委託	2号PCV内アクセスルート構築時の連続ダストモニタ紙、PCVガス管理設備ドレイン水、PCVガス管理設備配管の線量率を測定するためのサンプルを採取する。	2号R/B	2022年3月~	2号PCV		-
18	-	1F-3 PCV開口部調査及び閉止方法概念検討委託(その2)	3号機PCV開口箇所調査前の現場確認	3号R/B1階東側	2021年9月~2022年10月	-		-
19	-	1F-1 PCV取水設備成立性検討委託	1号機PCVから取水する設備設置検討に伴う現場調査	1号R/B1階北側	2021年4月~2022年2月	-	作業完了	-
20	-	1F-2 PCV圧力計基本設計委託	2号機PCV圧力計設置検討に伴う現場調査	2号R/B2階南側	2021年7月~2022年3月	原子炉計装ラック(25-6B)		-
21	○	1F-3 建屋内干渉物撤去工事(2)	3号機PCV取水設備設置に干渉するR/B1階北西、Rw/B1階の既設機器の撤去	3号R/B1階北西、Rw/B1階南側エリア	2021年6月~2021年12月	電線管、梯子、ガレキ、RW系統機器	作業完了	- (対象機器の撤去は、事故検証には影響はないものと考えている)
22	-	1F-2 R/B大物搬入口2階遮へい設置	搬入口2階に遮へいを設置し、線量低減を図る。(グローボックス設置のため)	2号R/B大物搬入口2階	2021年7月~2022年2月	-	作業完了	-
23	-	1F-2 R/B 1階干渉物撤去工事(1)その2	2号機PCV内サンプリング設備設置エリア確保のため、Rw/Bの廃棄物、ドラム缶等を撤去する。	2号Rw/B1階ドラム詰め室	2021年8月~2022年2月	-	作業完了	-
24	○	1F-2 PCV内部調査・試験的取り出し	2号機PCV内をカメラ、各種センサーで調査およびベDESTAL内の燃料デブリを試験的に取り出しを行う。 準備作業として、X-6ベネハッチ開放、X-6ベネ内堆積物の除去、ベネ内・PCV内の干渉物切断を行う。	2号機R/B1階北西	2021年11月~	2号機PCV		X-6ベネ内堆積物・線量情報 PCV内構造物の表面状態・線量情報
25	○	3号機R/B南側ガレキ撤去業務委託	3号機R/B燃料取出し用カバー設置時に干渉したオフロ上残置ガレキを撤去する。	3号機R/B南側スペース	2021年1月~2022年3月	3号機R/Bオフロ上の金属製ガレキ		対象機器を撤去する。

事故進展や事象究明／安全性向上に有益な情報が得られる可能性のある工事・作業リスト

2022年3月1日時点

工事期間 : ~2022年9月

抽出条件 : 現場の保存状態が変更となるもの（設備撤去、除染、設備の取り替え等）の他、現場の線量測定、サンプリング等幅広く抽出

追加作業・変更箇所 : 赤字記載

完了件名 : 灰色ハッチング

NO	現場の状態が変化する作業"○"	工事・作業件名	工事・作業概要	作業場所	工事・作業期間	対象設備	完了状況	現場の状態変化の内容 (機器の撤去やオフロ除染等により事故検証の情報が喪失する可能性がある等、大きく状態が変わるもの) 「-」: 現場の変更が軽微もの、または現場の変更が無いもの、事故検証への影響がないと考えられるもの(線量測定やサンプリング等)
26	○	1・2号機SGTS配管撤去工事(その1)	1号機及び2号機Rw/B上のSGTS屋外配管について作業干渉により撤去する。	1号機Rw/B及び2号機Rw/B上空	2021年9月~2022年3月	1号機/2号機SGTS屋外配管の一部		対象機器を撤去する。
27	-	K排水路・枝排水路排水採取作業(直営作業)	K排水路とK排水路へ流入する枝排水路の排水採取(直営作業)	K排水路流域	2021年1月~2023年3月(採取は降雨時に実施)	-		-
28	-	3号機R/B滞留水採取(直営作業)	3号機トラス室地下階の滞留水採取(直営作業)	3号機R/B地下階トラス室(予定)	2021年4月5日~2022年3月18日 <del>(採取は2021年1四半期頃)</del>	-		-
29	-	遠隔操作ロボットを用いた原子炉建屋内線量調査	遠隔操作ロボットを用いた1, 2, 3号機原子炉建屋内の線量測定	1, 2, 3号機原子炉建屋1階	2021年2月22日~2022年3月31日	原子炉建屋1階全域		-
	-	<del>2号機RHR配管近傍線量調査 作業中止のため削除</del>	<del>2号機原子炉建屋1階のRHR配管近傍の線量調査</del>	<del>2号機原子炉建屋1階</del>	<del>2021年3月~</del>	<del>-</del>		<del>-</del>
30	-	1~3号機 建屋滞留水サンプリング	1~3号機 原子炉建屋滞留水のサンプリング(採水)作業	1~3号機原子炉建屋	2021年4月1日~2022年3月31日	1~3号機原子炉建屋		-
31	-	排水路浄化材のサンプリング	排水路からフォールアウト物質が流出することを抑制するために、浄化材を設置している。この浄化材の効果を確認するために、現在は1か月に1回程度で直営サンプリングを実施している。	4号機西側周辺屋外エリア 構内排水路(K系)内	いつまで継続するかは未定です。 (フォールアウト流出抑制PJの判断)	構内排水路(K系)浄化材		-
	⊖	<del>1F 1~4号機建屋内備品撤去処分委託 作業中止のため削除</del>	<del>作業の効率化のため1/2号機サービス建屋内及び3/4号機サービス建屋内の装備交換所を拡幅するための準備として残置してあるロッカー等の備品類を撤去・処分・移設する。</del>	<del>1~4号S/B</del>	<del>2021年度中</del>	<del>ロッカー、備品、書類等</del>		<del>エリアを装備交換所として活用するため、当該エリアを大きく用途変更を予定。(線量低減対策含む)</del>
32	○	1F 1-4号機建屋内装備交換所拡幅工事	構内の作業の効率化のため1/2号機サービス建屋内及び3/4号機サービス建屋内の装備交換所を拡幅する。	1~4号S/B	2022年度竣工予定	12号/SB入口のSFP配管ロッカー、備品、書類等		エリアを装備交換所として活用するため、当該エリアを大きく用途変更を予定。(線量低減対策含む)
33	○	1F-3 原子炉格納容器内取水設備設置および同関連除却	3号機PCV取水設備の新設に伴いRHR系配管の切断を行うことから、当該配管の系統水排水と切断を行う。排水のため、RHR熱交換器入口部のベント弁を開ける。	3号機原子炉建屋1階、2階	2021年4月27日~2022年5月18日	3号機RHR系配管およびベント弁		配管内に滞留しているガスが放出される(試料を採取・分析予定)
34	-	1号機PCV内部詳細調査	1号機PCV地下階に水中ROVを投入し、ペDESTAL外部、ペDESTAL内部の堆積物の状況を調査する。また堆積物を少量採取する。	1号機R/B1階、免振棟	2022年1月~2022年8月	1号機PCV		-
35	-	1F燃料デブリ取り出しに向けた放射線測定技術の検討他業務委託(2)	コンプトンカメラを用いたγ線イメージングの測定および技術検討	3号機原子炉建屋1階	2021年11月~2022年3月	HCU設備		-
36	-	1F1~3 R/B HCU設備撤去概念検討委託(その4)	遠隔操作ロボットを用いて線量・汚染測定、3Dデータの取得	3号機原子炉建屋1階	2022年1月~2022年3月	HCU設備		-

事故進展や事象究明／安全性向上に有益な情報が得られる可能性のある工事・作業リスト

2022年3月1日時点

工事期間 : ~2022年9月

抽出条件 : 現場の保存状態が変更となるもの（設備撤去、除染、設備の取り替え等）の他、現場の線量測定、サンプリング等幅広く抽出

追加作業・変更箇所 : 赤字記載

完了件名 : 灰色ハッチング

NO	現場の状態が変化する作業"○"	工事・作業件名	工事・作業概要	作業場所	工事・作業期間	対象設備	完了状況	現場の状態変化の内容 (機器の撤去やオヘロ除染等により事故検証の情報が喪失する可能性がある等、大きく状態が変わるもの) 「-」: 現場の変更が軽微もの、または現場の変更が無いもの、事故検証への影響がないと考えられるもの(線量測定やサンプリング等)
37	-	1F-2R R/B内環境改善業務委託(3)	2号機原子炉建屋2階の空間線量率の分布測定、線源調査および試験除染を実施し線量低減に向けた概念検討	2号機原子炉建屋2階	2021年10月~2022年2月	-	作業完了	-
38	○	1F-2R R/B 1階干渉物撤去工事(1)その3	2号機原子炉建屋1階西側エリアにて燃料デブリ小規模取り出し装置の搬入、移動において干渉する既設MCC盤を撤去し、通路の拡張	2号機原子炉建屋1階	2021年12月~2022年2月	MCC2A、MCC2B	作業完了	- (対象機器の撤去は、事故検証には影響はないものと考えている)
39	○	1F-3 R/B1階干渉物撤去工事(3)	3号機デブリ取り出し関連作業に干渉するR/B1階北西、Rw/B1階の既設機器の撤去	3号R/B1階北西、Rw/B1階	2021年11月~2022年3月	ダクト、架台、ガレキ、RW系統機器、分電盤		対象機器を撤去する。
40	○	1F 低圧電路信頼性向上対策工事	震災時応急送電した電路・電線（低圧電路）を「電気設備技術基準」の解釈を踏まえた信頼性向上対策工事を実施	1~4号建屋周辺、プロセス主建屋周辺	2022年4月~2024年2月	電路・電線（低圧電路）		区画内への整理、またはグリーントラフなど堅牢な設備へ収納
41	○	1F-2 燃料取扱機操作室撤去工事	燃料取扱設備新設に伴い、建屋出入りの干渉となる既存燃料取扱機操作室を撤去する。	2号R/Bオヘロ南西側	2022年7月~2022年11月	2号機R/Bオヘロ既存燃料取扱機操作室		対象設備を撤去する。
42	-	1F-3 MSIV室状況調査委託(その2)	福島第一原子力発電所、3号機PCVからの漏えい箇所の特定のため、MSIV室内の状況調査を行い、今後のPCV止水処理方法の検討の一助とする。	3号 空調機械室(調査対象MSIV室)	2022年1月~2022年5月	MSIV室		-
43	○	1F 建屋外壁止水工事(その1)	3号機T/B北東部の外壁にある配管貫通部を対象に、地下水が流入しているかどうかの調査、並びに止水注入を実施し、建屋地上部スラブ部を削孔して、カメラにより内側から状況を確認する。	3号T/B北東外壁(止水)、3号T/B北東D/G室(カメラ調査)	2022年4月~2022年10月	3号T/B		対象設備の削孔を行う。
44	○	1F-1~4 D/G排気管除却工事	1~4 D/G排気管の除却を行う	1~4号機周辺	2021年8月~2022年3月	1A/B 2A 3A/B 4A D/G排気管		対象設備の撤去を行う。
45	○	3号機地下貯蔵建屋外壁材撤去業務委託	震災後の爆発の影響により損傷し、構造躯体である鉄骨が変形している。外壁材は剥離が生じており、周辺設備損傷のリスクを抱えており、経年劣化や地震・台風による部材落下によりリスク低減を図るため、上屋の撤去を行なう。	3号機地下貯蔵建屋	2022年4月~2023年6月	3号機地下貯蔵建屋(上屋)		対象設備の撤去を行う。
46	○	1号タービン建屋躯体損傷箇所修理工事	1号機タービン建屋内壁に発生しているコンクリート躯体損傷箇所を補修する	1号機タービン建屋	2022年5月~2022年9月	1号機タービン建屋内壁		対象設備を補修する。
47	○	建物危険度調査に伴う建物改修工事(2022年度)	長期保守管理計画に定められた対象建物や設備の補修等を実施する(内容については精査中)	構内各所	2022年5月~2023年2月	構内各所		対象設備を補修する。
48	-	1F2022年度4号機原子炉建屋躯体健全性調査業務委託	4号機原子炉建屋・カバー架構の劣化状態等について詳細調査を行う	4号原子炉建屋、カバー架構	2022年4月~2023年3月	4号原子炉建屋、カバー架構		-

事故進展や事象究明／安全性向上に有益な情報が得られる可能性のある工事・作業リスト

2022年3月1日時点

工事期間 : ~2022年9月

抽出条件 : 現場の保存状態が変更となるもの（設備撤去、除染、設備の取り替え等）の他、現場の線量測定、サンプリング等幅広く抽出

追加作業・変更箇所 : 赤字記載

完了件名 : 灰色ハッチング

NO	現場の状態が変化する作業 "○"	工事・作業件名	工事・作業概要	作業場所	工事・作業期間	対象設備	完了状況	現場の状態変化の内容 (機器の撤去やオゾン除染等により事故検証の情報が喪失する可能性がある等、大きく状態が変わるもの) 「-」: 現場の変更が軽微もの、または現場の変更が無いもの、事故検証への影響がないと考えられるもの（線量測定やサンプリング等）
49	-	1号機R/B滞留水採取 & 分析 (直営作業)	1号機トラス室地下階の滞留水採取	1号機R/B	2022年3月~2022年5月 (採取日調整中)	-		-

## 事故分析のために実施する業務(2021年度分)

No.	作業件名	作業の概要	作業場所	作業期間	対象設備
1	1F1-2 原子炉建屋上部階調査	原子炉建屋内の状況について線量測定やγイメージャ測定による線量解析を実施。この結果を活用して詳細調査を計画する。	1F1-2原子炉建屋	21年8月～ 22年3月 (完了)	建屋内機器
2	1F1-3 炉内状況把握にかかる検討委託(その1)	未解明問題の報告書に検討結果が掲載される。21年度の項目は1号機PCV/圧力変化挙動の評価による漏えい孔の評価、2号機の昇温過程における水/水蒸気比等の環境条件の評価、3号機圧力容器損傷前の原子炉建屋内水素分布の評価の3点。	机上検討	21年度 (完了)	—
3	最新知見を活用したMCCIメカニズムに関する検討委託(その2)	1F各号機のデブリ堆積状況と過去の知見の不整合の原因を探るための調査。	机上検討(1F外実験情報取得含む)	21年度	—
4	1F1-3 事故シナリオ同定のための検討委託(その1の1)	BWRのRPV底部破損のメカニズム解明を中心とした事故解析の実施。	机上検討	21年度	—
5	1F1-3 事故シナリオ同定のための検討委託(その1の2)	BWRのRPV底部破損の状況を評価するための解析の実施。	机上検討	21年度	—
6	1F1-3 事故シナリオ同定のための検討委託(その1の3)	BWRのRPV底部破損の状況を評価するための実験の実施。	1F外実験	21年度	—
7	1F 現場情報活用のための燃料・材料反応試験(その1)	知見の少ない鉄を多く含むデブリ挙動を実験室で再現し、実デブリに関する知見を取得する。(例) U-Zr-Fe-O系溶融体について、冷却速度/雰囲気(温度履歴/水蒸気-水素比)が形成相・組織に与える影響を調べる。	1F外実験	21年度 (完了)	—
8	金属系初期融液形成および損傷進展メカニズムの解明	燃料集合体の損傷様式に大きく影響すると考えられる集合体、制御棒部材の材料間反応に着目し、SUS・ジルカロイ・B4C等の拡散対試験を実機に近いと想定される条件で実施し基礎的なデータを取得する。	1F外実験	21年度	—
9	1号機PCV内部調査結果を踏まえたデブリ分布の推定図の修正	1号機口ポット調査結果を用い、特にペDESTAL内の状況をデブリ分布の推定図に反映する。	机上検討	21年度～22年度	PCVペDESTAL内
10	廃炉作業で見つかった知見を利用したデブリ分布の推定図の修正	随時発生する廃炉作業で得られる情報を活用しデブリ分布の推定図を修正する。	机上検討	不定期	—
11	第6回未解明問題の報告書作成	2017年12月以降の検討結果を取りまとめて報告書を作成する。	机上検討	21年度～22年度	—
12	1F1-3 炉内状況把握にかかる情報収集およびDB管理委託(その1)	1Fにて実施した調査の公表情報に関するDBの維持管理(サンプル分析結果含む)。	机上検討	21年度	—

## 事故分析のために実施する業務(2021年度分)

No.	作業件名	作業の概要	作業場所	作業期間	対象設備
13	情報集約図、デブリ分布の推定図のアップデート	4半期に一度、最新情報を踏まえ、改訂の有無を確認する。	机上検討	21年度	—
14	燃料デブリ性状把握のための汚染物サンプル分析および輸送	廃炉作業にて発生したサンプルを取得し、茨城県内の分析施設に輸送し、分析する。	茨城県内分析施設	21年度下期に輸送済	—
15	放射性微粒子の生成メカニズム検討のための土壌輸送・分析	事故当時に採取された敷地内土壌を、茨城県内の分析施設に輸送し、分析する。	茨城県内分析施設	21年度上期に輸送済	—
16	1F-2, 3RPV破損メカニズム検討のための設計・製造情報調査委託	No.4のRPV底部破損メカニズム検討に必要な、圧力容器、格納容器回りの設計・製造情報を収集する。	机上検討	21年度下期～22年度上期	—

## 事故分析のために実施する業務(2022年度分)

No.	作業件名	作業の概要	作業場所	作業期間	対象設備
1	2号機FHM遠隔操作室調査	2号機FHM遠隔操作室内及び室外壁面のスミア採取を実施。	2号オペフロ南西側	2022.6~2022.7	2号機R/Bオペフロ既存燃料取扱機操作室
2	1F-2 原子炉建屋内調査業務委託(その1)	2号機地下階にあるRCIC室へのアクセス性を確認することを目的として、R/Bヤード西側床面に穴を明け、RCIC室に隣接するH/B室及びHPCI室にγイメージャ、線量計等を挿入して内部を調査する。	2号R/Bヤード西側	2022.9~2023.1	2号機H/B室 2号機HPCI室
3	1F1-3 炉内状況把握にかかる検討委託(その2)	未解明問題の報告書に検討結果が掲載される。2022年度の検討項目は、3号機3月14日0時から水素爆発までの事故進展シナリオの検討等。	机上検討	22年度	—
4	最新知見を活用したMCCIメカニズムに関する検討委託(その3)	1F各号機のデブリ堆積状況と過去の知見の不整合の原因を探るための調査。	机上検討(1F外実験情報取得含む)	22年度~23年度	—
5	1F1-3 事故シナリオ同定のための検討委託(その2の1)	BWRのRPV底部破損のメカニズム解明を中心とした事故解析の実施。	机上検討	22年度	—
6	1F1-3 事故シナリオ同定のための検討委託(その2の2)	BWRのRPV底部破損の状況を中心とした評価をするための解析の実施。	机上検討	22年度	—
7	1F1-3 事故シナリオ同定のための検討委託(その2の3)	BWRのRPV底部破損の状況を中心とした評価をするための実験の実施。	1F外実験	22年度	—
8	1F 現場情報活用のための燃料・材料反応試験(その2)	知見の少ない鉄を多く含むデブリ挙動を実験室で再現し、実デブリに関する知見を取得する。(例) U-Zr-Fe-O系溶融体について、冷却速度/雰囲気(温度履歴/水蒸気-水素比)が形成相・組織に与える影響を調べる。	1F外実験	22年度	—
9	福島第一原発金属系デブリ形成メカニズムの研究	実施内容を検討中。(例) 1F炉心損傷時における材料反応に及ぼす海水成分の影響の評価)	1F外実験	22年度	—
10	1号機PCV内部調査結果を踏まえたデブリ分布の推定図の修正	1号機ロボット調査結果を用い、特にベデスタル内の状況をデブリ分布の推定図に反映する。	机上検討	22年度	PCVベデスタル内
11	廃炉作業で見つかった知見を利用したデブリ分布の推定図の修正	随時発生する廃炉作業で得られる情報を活用しデブリ分布の推定図を修正する。	机上検討	不定期	—
12	第6回未解明問題の報告書作成	2017年12月以降の検討結果を取りまとめて報告書を作成する。	机上検討	22年度	—



## 事故分析のために実施する業務(2022年度分)

No.	作業件名	作業の概要	作業場所	作業期間	対象設備
13	1 F 1 - 3 炉内状況把握にかかると情報収集およびDB管理委託（その2）	1Fにて実施した調査の公表情報に関するDBの維持管理（サンプル分析結果含む）。	机上検討	22年度	—
14	情報集約図、デブリ分布の推定図のアップデート	4半期に一度、最新情報を踏まえ、改訂の有無を確認する。	机上検討	22年度	—
15	燃料デブリ性状把握のための汚染物サンプル分析および輸送	廃炉作業にて発生したサンプルを取得し、茨城県内の分析施設に輸送し、分析する。	茨城県内分析施設	22年度	—